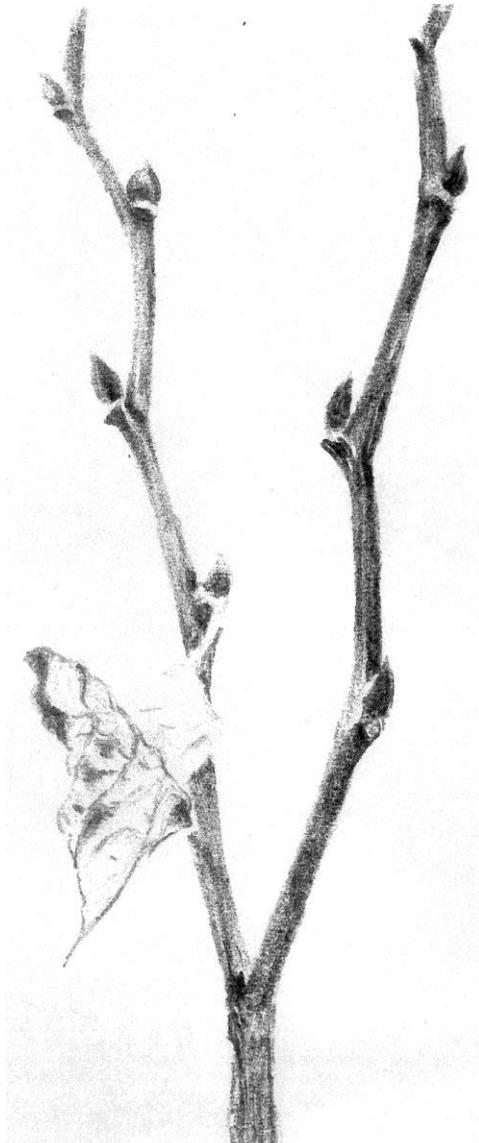




ゴロスケ報々



青空にわずかに残った木の葉。
と思いきや クワコの おちのぬけ殻だ。

夏見付にくいさなきも
冬はそれらを見るよい季節。

天敵から身を隠してくれた葉も
木枯らしとともになくなり
クワコの抜け殻が姿を現す。

●10月の「自然と遊ぼう」報告●

定例行事の報告

10月24日(土) 秋晴れの気持ちのよい森は、お散歩に気分もうきうきです。

今月のテーマは「落ち葉でおえかき」です。

すきな落ち葉を拾ってきて紙に張り付けて貼り絵、ちぎり絵を作ってあそびました。

赤、黄、茶、こげ茶色、硬い、柔らかい、厚い薄い、大きい、小さい、いろんな葉っぱや小枝、の手触りや形の組み合わせで貼り絵を楽しんでもらいました。

今日の参加者23人、スタッフは小泉さん、新倉さん、山本さんと、むらじいの四人でした。

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●11月定例会報告●

日時 2015. 11. 15 (日) 13:00~15:00

出席者 山口、村松 (議長)、大浦、片岡、青木、関根 (書記)、橋詰、落合、中里
高橋む、鈴木、高橋も、古南R、掛下R

議事

1. 友の会の行事報告、プロジェクト報告をしました。年間計画通りの行事を実施しました。
2. 友の会の行事予定を確認しました。
3. ごろすけ館の利用予定を確認しました。
4. 事務局より
 - ・10月17日「金沢まつりいきいきフェスタ」つながりの森コーナーへ友の会が出店しました。観察の森で撮影した野鳥、チョウ・トンボ、動物、植物の写真を展示しました。場所が良かったせいか、多くの方に立ち寄っていただきました。担当会員 6名
 - ・12月23日の望年会の役割分担をしました。多くの会員の方々の参加をお待ちしています。
 - ・カレンダーが届きました (11/11) 販売担当のPJの皆さん、よろしくお願いします。会員の皆様も、お買い求めください。
 - ・新会員がお一人いらっしゃいました。ハンミョウの会に所属されました。
5. センターより
 - ・センター主催行事へのボランティアとしての参加、ありがとうございました。
 - ・長倉口野外トイレは排水工事が難航し、予算の都合もあり完成が遅れています。3月いっぱいかかる見込みです。仮設トイレは3月からの予定です。その他、センターだよりのページをご覧ください。

次回の定例会は
1月17日 (日) 13時から
センター研修室で
定例会は会員どなたでも参加できます。

●11月理事会報告●

日時 2015年11月15日 (日) 9:30~11:30

出席者 青木、大浦、落合、片岡、志釜、関根、中里、橋詰、村松、山口、古南R、掛下R
(欠席: 秋元、漆原、中塚)

- 1 中間報告
 - ・事業 (計画通り実施) 及び会計 (早めの請求のお願い含む) について中間報告がありました。
- 2 次年度事業方針
 - ・次期中期計画 (2016-19) は現行計画を踏襲した原案の方向で次回正式決定します。
 - ・総会・秋まつり・望年会の日程 (4月3日、10月23日、12月23日) を確定しました。
 - ・開園30周年関連は3月にセンターから提示予定です。
 - ・森のボランティア体験は10月を秋まつりで代替 (センター共催) し、5回としました。
 - ・ごろすけ館活用のため、例年展示の期間延長や絵本・ゴロ報表紙原画展などを検討します。
- 3 安全管理
 - ・1月24日の救急救命講習について早急に詳細を担当理事に確認します。
 - ・事故等なく、ハチも少なかった旨、報告がありました。
- 4 その他
 - ・HP改善 (観察の森 HP に友の会ブログのリンク追加、ブログにHPリンク追加)
 - ・安全細則13条 (会員の園内禁酒) の趣旨・経過及び引き続き周知・徹底を再確認。
 - ・マスコミ掲載で行事申込先はメールアドレスを優先することを確認。
 - ・友の会30周年 (2018) で記念誌等費用発生の場合は助成金など早目の検討が必要。

＜次回理事会＞

日時 1月17日 (日) 9:30~12:00
場所 自然観察センター研修室
議題 1 次年度計画・次期中期計画
2 定期総会準備
3 利用推進会議 (後期)
4 安全管理
5 その他

テキサス ブラソスベンド州立公園のボランティア

2011年から約3年間、仕事の都合で米国テキサス州南部の大都市ヒューストンで暮らしました。米国に行ってもすぐ、横浜自然観察の森のような、どこか落ち着けるところ、活動できるところはないかとあちこち探してたどり着いたのが、ヒューストンから南西方向に車で50分のところにあるブラソスベンド州立公園です。

テキサス州最長(2060km!)のブラソス川に面し、三日月湖(川が流れた跡)、人工湖、湿地、巨大なカシヤニレの森が広がる面積約2000haの広大な公園です。水辺、野の鳥あわせて300種以上、シカ、ウサギ、リス、アルマジロ、カワウソ、アライグマ、ボブキャットなどなど動物にとっての楽園ですが、有名なのはなんといってもワニ(アリゲーター)で、300頭ほどが生息しています。オーストラリアなどに生息するクロコダイルと比べると、少しおとなしいようですが、大きなものは5m以上にもなり、近づいたり餌を与えたりは厳禁です。

公園では、数十人のボランティアのレンジャーが大きな役割を担っていて、毎週末にはレンジャーによる様々なプログラムが用意されています。湖の周りを1.5時間ほど歩くガイドツアー、バードウォッチングツアー、ネイチャーセンターでは公園内の生きものについての30分講座やワニの赤ちゃんふれあいタイム、望遠鏡を持ったレンジャーが湖の決まった場所、時間にやってきての解説、などがあります。どれも少人数を相手にレンジャー一人で対応するというシンプルなものでしたが、和気あいあいと楽しいものでした。これら定期的なもの以外の様々なイベント、公園内の見回りと声掛け、各種調査、外来植物除去、入場ゲート対応(公園は有料)、キャンプサイト対応(馬連れの人のためのサイトもあり)、ギフトショップ(ボランティア活動の収入源)、飲料水タンク交換、トレイル整備などを行っています。

さて、ワニは普段は水辺でただ日光浴しているか、ゆっくり泳いでいることが多いですが、春にはオスがメスを呼ぶために野太い声で吠えたり(恐竜もこんな声で吠えていたかも)、秋には赤ちゃんが親の頭に乗ったり降りたり、冬には大きなカメラをくわえてガシガシと甲羅をかみ砕こうとする姿や、たまにトレイルをのしのし歩くのも見られました。トレイルにでーんと居座ったときは、レンジャーがやってきてずっと見守りつつ話をしてくれたりしました。

行けば何かしら発見のあるこの公園で、もしもレンジャーになれば、などと考えてみたものの、いろいろとハードルは高く、気軽にという訳にはいかず断念。ここで行われている活動に深く関わることはできなかったけれども、プログラムに参加したり、道行く人と一緒に観察したり、日本からの出張者を案内してバードウォッチングの楽しさを知ってもらったり、BBQしたりととても楽しめました。

この公園は、北はカナダ、南は中南米まで移動する渡り鳥、旅鳥にとって非常に重要な場所になっていますが、テキサス州の湿地は年々減少し乾燥化が進んでいます。公園のまわりは19世紀初頭からの入植で、どんどん牧場、綿花畑に変わっていきました。楽園のようなこの公園がいつまでも続くこと、野生動物と環境の保護に関心を持つ人が増えることを願ってやみません。

定点カメラで動物調査 渡部

●森を守るボランティア体験(10月) 報告●

<炭材作りを体験>

日時：10月18日(日) 9:30~14:00

メンバー4名 参加者2名

オリエンテーションの後、フィールドのガイドウォークをした後、炭小屋で、竹材、アラカシ材をドラム缶に入る長さに切り、割ってもらう炭材作りを体験して頂いた。

友の会に興味を持って頂いたが入会に結び付かなかった。

終了後、ゴロ報の発送作用に協力してくださいました。

報告 雑木林ファンクラブ (橋詰)

友の会活動報告

●秋まつり 報告●

10月25日、事前に申し込まれた21名が参加して「友の会 秋まつり」が開催されました。

村松さんの友の会紹介の紙芝居の後、参加者全員で畑へ移動。サツマイモ、サトイモ、落花生などの作物の収穫を体験しました。その後2班にわかれ各PJの体験です。鳥のくらし発見隊「あの鳥なかに」、絵本づくりの会「絵本の読み聞かせ」、自然と遊ぼう「葉っぱのフロッタージュ」、カワセミFC「旅鳥&四季の野鳥」、定点カメラで動物調査「定点カメラに写った森の生きものたち」を順番に回りました。

昼休みには雑木林ファンクラブによる「コースターづくり」を体験してもらいました。最後は畑の収穫物を配布し終了。アンケートの結果から、参加の皆さんはとても楽しまれたようです。

参加会員 27名

事務局 中里

友の会行事のお知らせ

●森の作業体験(間伐体験)●

森の木を鋸で切り倒します。いい汗をかきましょう。道具、安全具は用意します。

1.日時：2016年1月23日(土曜日)10時から14時まで

2.集合時間・場所：横浜自然観察の森 炭小屋前 10時

3.参加条件：小学生以上 小学生の方は保護者同伴。先着30名様

4.服装：作業可能な服装(長袖、長ズボン)、軍手、スニーカー、帽子

5.申し込み方法：参加者全員の氏名、年齢、電話番号を記入して

電話 045-895-5151 E-Mail: kansatsunomori@gmail.com まで

6.その他：昼は味噌汁をだします。おにぎりなどをご用意ください。

担当：雑木林ファンクラブ

●初めてのバードウォッチング~初心者のためのバードウォッチング講座●

バードウォッチングをしてみたいんだけど、何が必要なのか、どこへ行けば鳥が見られるのか、どんな鳥が見られるの、などなど「バードウォッチングに興味があるんだけど、わからないこともあって・・・」

そんな方を対象にバードウォッチングの基本を学び、実際に森を歩いて野鳥を探します。

主催 横浜自然観察の森友の会 担当 鳥のくらし発見隊

日時 2016年2月28日(日) 9:00~14:00 センター前集合

対象 小学4年生~大人 30名募集

申し込み期間 1月30日~2月20日(先着順)

申し込み メール kansatsunomori@gmail.com

①イベント名と日時 ②参加者全員の名前と年齢 ③代表者の緊急連絡先(携帯電話など)

④このイベントを何で知ったか

●救急救命講習の実施と案内●

私たちの取り組んでいる環境保全活動は野外で行うことが多く、横浜市でも各種の事故の発生とそれに伴う安全管理への関心の高まりが見られます。

日常生活においても、万一の場合、救急車が到着するまでに適切な対応ができるかどうかはその後の回復に影響を与えます。

また横浜市では、横浜自然観察の森をはじめ、AEDの設置や貸し出しをしている場所では、使い方の講習を受けるよう指導をしています。

初めての方はもちろん、以前受講された方も、新しい情報を得たり、反復することで技能の維持がはかれます。

このため友の会では、以下の通り、会員を対象に救急救命講習を実施することとしました。

各プロジェクトごとに呼びかけあって、できるだけ多くの方に受講いただけますようご案内します。受講者には、救命技能を認定する修了証が発行されます。

日時：1月24日（日）9時30分～12時30分（雨天実施）

場所：観察センター研修室

講師：横浜市栄消防署

内容：「普通救命講習」

成人に対する心肺蘇生とAEDの使用方法を主体とした3時間の講習

受講対象者：会員 中学生以上

教材費：1000円（当日徴収）

申込と締切：1月9日（土）までに、プロジェクトのリーダー経由または直接、定例会メールリストでご連絡ください。

担当：中塚（安全管理担当理事）

●モニ1000「人為的インパクト調査」の参加者募集●

観察の森では、環境省が行っているモニタリングサイト1000（日本全国の1000カ所で、100年間、生き物や自然の変化をモニタリングする調査）に参加しています。その調査の1つ「人為的インパクト調査」では、人による自然環境の利用状況を記録するため、5年に1度、植生を調べています。植生は、その土地の環境を示す基礎になるものです。

前回調査から、5年がたちました。観察の森では、保全管理計画策定の中で、2012年に詳細な植生図を作っていますので、今回は、それをもとに、主に、植生調査を体験するための場にしようと思います。植生調査ってどんな方法でやるのか、興味ある方、この機会にぜひおいでください（次は5年後になります、たぶん）。

日時：2月13日（土）9時半～13時頃、ごろすけ館集合

雨天：延期（日時未定。事前申込の方には連絡します）

対象：友の会会員

持ち物：昼食・飲み物・筆記用具・あれば双眼鏡、やぶこぎするかもしれませんので、歩きやすい靴・着替え・タオル

事前申込：資料を用意しますので、できるだけ事前に、レンジャー、または下記までメールでお知らせください（当日参加も可）

担当：「人為的インパクト調査」藤田薫 kaoru.fujita(アット)sci.toho-u.ac.jp

注：送信の時は、(アット)の部分を@に変更してください

おしらせ・お願い

●観察の森に関する論文が公開されました

観察の森の調査研究に関し学術誌に投稿された論文が2編、このほど刊行されました。1は元レンジャーとして藤田剛さん、藤田薫さんが執筆に関わってくださった鳥類相の変化に関する論文です。2は、明治大学農学部教授の倉本宣先生によるもので、友の会の皆さんにも投稿いただいている調査報告に掲載された報文について、生態系の管理という観点から分析された論文です。

1. 藤田剛・柴田英美・古南幸弘・藤田薫、2015. 横浜自然観察の森での21年にわたる鳥相多様性の変化。BINOS(日本野鳥の会神奈川支部研究年報) vol.22:1-11.
2. 倉本宣、2015. 調査報告にみる横浜自然観察の森の関係者の生態系管理に対する意識。景観生態学 20(1) 41-47.

これらの論文をお読みにになりたい方は、古南までお声掛けください。

●工事と作業の予定

◆業者さんによる園内の樹木の伐採、草刈

前号でもお知らせしたとおり、環境管理のため、過去に植栽された樹木等、この地域本来の自生種ではない樹木や竹の伐採を、引き続き行います。(竹林のモウソウチク、桜林のソメイヨシノ等)

◆園路の補修工事

12月下旬から園路沿いの擬木柵・ロープ柵の設置工事が入ります。林内や源流の岸辺、崖地に人が入るのを防ぐため、以下の箇所で行います。コナラの道7・19付近、ミズキの道6、7、8、13付近、生態園野外トイレ付近。

◆長倉町野外トイレの移設工事は、3月までに完了の見込みです。

◆以上について、園内の生物や皆様のご利用に極力影響が出ないよう進めますが、お気づきの事やご要望があれば、レンジャー古南、瀧本までご連絡ください。

◆おわび 11月に実施したコナラの道沿いの危険木の伐採にあたり、実がついたカラスザンショウが伐採されたことについて、ご意見をいただきました。該当の木は上部の枝の大部分が枯れていて、根元がコナラの道から約10mしか離れておらず、倒れると通行人に危険があると判断されたため、一部の枝は生きていましたがやむなく伐採しました。しかし実を食べに来ている野鳥への影響を想定できていませんでしたことをお詫び申し上げます。本来であれば、実を食べ終わった後に行うべきでした。今後は可能な限り、時期にも配慮するように致します。

◇ピクニック広場は引き続き、広域水道企業団による水道施設の耐震工事が行なわれているため、2017年1月31日までの期間、使用できません。

◇一時的に利用できない箇所が発生する場合には、わかり次第、自然観察センターのウェブページや友の会のメーリングリストに掲載します。ご理解・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

●「横浜自然観察の森調査報告20」を発行

観察の森での1年間の調査記録などをまとめた「横浜自然観察の森調査報告20」が完成しました。節目の20号を迎えることができましたのも皆さんの活動によるところが大きく、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。今号も各プロジェクト宛に1部ずつ差し上げていますので、ぜひご覧ください。

●ピクニック広場工事現場壁面に野鳥写真を展示

工事中のピクニック広場を覆う壁面に、森で見られる野鳥写真のパネルが登場しました。友の会の皆さんから白い壁面の有効活用のご提案を頂き、工事業者と交渉しておりましたが、このほど実現に至りました。

写真はカワセミファンクラブの皆さんから、選りすぐりの作品をご提供いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ぜひ、皆さんも足を止めてご覧ください。

●2/11 いきもの講演会 参加者募集

毎年、各方面から専門家をお招きし、観察の森に暮らす生きものたちの保全活動に役立てる講演会を実施しています。今年度は森の水辺に暮らすカエルについて、円海山周辺でカエル類のフィールド調査を実践されている阿部道生先生(鶴見大学 学内准教授)にお越しいただき、座学と調査実習をとおして学びます。どうぞ奮ってご参加ください。

日時：2016年2月11日(木・祝) 10:00~15:00(雨天決行) 申込締切：2月4日

必要事項：参加者全員の名前、②あればFAX番号、③何を見てイベントを知ったか、④学生の方は学年を記入の上、FAX、E-mailまたは往復はがきで自然観察センターまで。

保安全管理計画のフォローアップ

★保安全管理フォローアップの会★ 報告

第4回 11月7日(土) 13:00~15:00

○参加者 友の会9名 (篠原由紀子さん、上原明子さん、片岡章さん、大浦晴壽さん、橋本雅夫さん、藤原功さん、落合道夫さん、関根和彦さん、村松古明さん)

横浜市(藤田智さん)、レンジャー(古南幸弘、瀧本宏昭)

○内容 前回の勉強会での指摘を受け、桜林南側の林縁部分に低木を育てツル植物を抑えていくため、サクラ類2本の伐採を先送りし、この部分のツル植物を刈り取る作業を行いました。現地で作業をする際に、桜林に下りるタンポポの道沿いに、トウネズミモチ(外来種)が残っているのがわかり、これは後日、雑木林ファンクラブの皆さんに伐っていただきました。

次回 1月11日(月・休) 12:00~15:00 勉強会「森づくりのために土のことを学ぼう」

講師：金子信博先生(横浜国立大学) 【日時を変更しました。ご注意ください】

今回は「土壌断面」から土の見かたを学び、森づくりを考える材料にします。普段あまり目にする事のない森の土の中を見る機会ですので、ご関心のある方はどなたでもご参加ください。

(資料準備の都合上、ご出席いただける方は、できるだけ前日までに古南、瀧本までご連絡ください。)

ボランティアさん

10/9~12/6

ありがとう

- 10/21 雑木林ファンクラブ(工藤国俊さん)：木製楽器(木琴)のバチの補修
- 10/24 雑木林ファンクラブ(大越哲朗さん、片岡章さん)：CSR用標柱作成
- 10/30・11/21 雑木林ファンクラブのみなさん：CSR用道具の貸し出し
- 11/27 カワセミファンクラブのみなさん：調整池壁面用の野鳥写真提供
- 11/28 中里幹久さん、上原明子さん、水上重人さん：「親子でバードウォッチング」サポート
- 12/5 漆原弘光さん、中里幹久さん、上原明子さん、水上重人さん：「林の野鳥調査隊」のサポート
- 12/5 雑木林ファンクラブの皆さん：自然観察センター前輪投げ台作成
- 11/17~12/6 アライグマ捕獲巡回ボランティアのみなさん：アライグマ捕獲わなの巡回
- 10/9~12/6 カワセミファンクラブの皆さん：展示用野鳥・昆虫写真、自然情報のご提供
- 10/9~12/6 事務局内グループ「野草の調査と保護」の皆さん：開花情報のご提供

年末・年始の休館のお知らせ

自然観察センターは12/28(日)~1/4(月)の間はお休みをいただきます

新年は1月5日(火)から開館します。来る2016年もみなさまどうぞよろしくお願いいたします。

〒247-0013 横浜市栄区上郷町1562-1

横浜自然観察の森 自然観察センター(月曜休館・祝日の場合はその翌日)

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892 E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<http://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

イラスト・黒川マリア



行事スケジュール 12月～2月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●季節行事●

●ゴロ報表紙絵展

12/20(日)～1/30(土)
高橋さんの描いたゴロ報の表紙絵を2年分展示します。

●森の作業体験(間伐体験)→4ページ参照

1/23(土) 10:00～14:00
集合：炭小屋前
対象：小学生以上(小学生は保護者同伴)30名
申込み：電話かEメール
担当：雑木林ファンクラブ

●救急救命講習→5ページ参照

1/24(日) 9:30～12:30 雨天実施
場所：観察センター研修室
対象：友の会会員(中学生以上)
教材費：1000円(当日徴収)
申込み：1月9日(土)まで。PJリーダー経由
または定例会メーリングリストで連絡。

●モニ1000「人為的インパクト調査」

2/13(土) 9:30～13:00頃
集合：ごろすけ館 雨天延期
対象：友の会会員 →5ページ参照
※参加者はできるだけ事前に連絡してください

●初めてのバードウォッチング→4ページ参照

2/28(日) 9:00～14:00
集合：観察センター前
対象：小学4年生～大人、30名
申込み：メールにて先着順。1/30～2/20
担当 鳥のくらし発見隊

●定例行事●

★森を守るボランティア体験 偶数月第3日曜

～友の会の活動内容紹介とルールを～
2/21(日) 9:30～14:00 雨天催行
受付：直接、自然観察センターの研修室へ
対象：どなたでも ※小学生以下は保護者同伴
*会員の方は、ぜひ一度は参加して下さい。

●季節の森を歩こう(園内の自然案内)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～
1/10(日)・2/7(日)
1回目 11:00～ 2回目 13:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：どなたでも
担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～
1/10(日)・2/14(日)
9:00～13:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：鳥のくらし発見隊 毎月第2日曜

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～
1/20(水)・2/17(水)
10:00～12:00 絵本製作
受付：ボランティアルーム 対象：どなたでも
担当：森の絵本づくりの会 毎月第3水曜

●センター主催行事●

■【親子でバードウォッチング～鳥のいろ、かたち、もよう～】

日時：1/30(日) 10:00～13:30
対象：6歳～中学生とその保護者30名
申込締切：1/15

■【横浜自然観察の森 生き物講演会～つながりの森の水辺でカエルを知ろう～】

日時：2/11(祝・木) 10:00～15:00
対象：中学生以上40名
申込締切：2/4

申込はイベント名、全員の氏名、お子様の年齢(学年)、電話番号、返信先を書いてEメール、FAX、往復はがきでセンターまで(センターの連絡先は7ページ参照)

■保安全管理フォローアップ勉強会「土壌動物」

日時：1/11(月) 12:00～15:00
担当：自然観察センター

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～
1/16(土)、2/20(土)
10:00～12:00 雨天中止
受付：自然観察センター前にて 対象：どなたでも
担当：畑プロジェクト 8月を除く毎第3土曜日

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、あそびながら自然とふれあい～
1/23(土)・2/27(土)
1回目 13:00～ 2回目 14:00～
受付：30分前から 自然観察センター前にて
対象：子どもから大人までどなたでも
担当：自然と遊ぼう 毎月第4土曜

発行日 2015年12月20日
発行 横浜自然観察の森友の会
FAX 045-894-8892
E-mail: kansatsunomori@gmail.com